### ストリートシアター グローバル人材育成プロジェクト"STRANGE Lab." 【SPAC—静岡県舞台芸術センター 】

目的 目標

世界的に高い評価を得ているSPAC一静岡県舞台芸術センターが中心となって開催する舞台芸術のフェスティバ ルをジャンプ台として、日本の若手アーティストがストリートシアター作品をつくり、最短距離で国際的な舞台芸術市 場に躍り出ることを目的とする。

概要

日本においてストリートシアターは、屋内劇場で上演される作品に比べ、担い手となるアーティスト・スタッフ、および 批評家が育っていないのが現状である。一方、特に若者世代は、イマーシブシアターのような没入型作品や体験 型作品への感度が高く、ストリートシアターを入口に世界のマーケットに参入することは、若い世代のアーティストに とってシアター・ピースをもって世界市場に参入するよりも近道である。本事業ではストリートシアター作品のクリエイ ションにおける国際的な人材育成機関としてSPACが機能することを目指し、毎年ゴールデンウィークに実施してい るストリートシアターフェス「ストレンジシード静岡」を十台にして世界に飛び出すアーティストを育成する。

#### 3年目までの取組

- 日本国内にて育成対象アーティストとともに海外へ発信できるストリート シアター作品を創作し、プロトタイプの上演を行う。
- 海外のストリートシアターフェスティバルとのネットワークを構築し、2026年 度以内に海外の野外フェスティバルへの招聘を決定する。
- 批評、広報、ネットワークづくり等、ストリートシアターを支えるスタッフ人材 を育成する。

### 5年目までの取組

- ストレンジシード静岡で初演した作品が海外の野外フェスティバルに招聘を 受け上演される。
- 国内でのツアー公演の実施
- 最終的にSPACでストリートシアター創作のノウハウを身につけたアーティスト が「ストレンジシード静岡」での活躍を通して、世界に羽ばたいていき、スト リートシアター分野におけるSPACの認知度が向上する。





ウォーリー木下 作・演出『χορός/コロス』

## 中核となるクリエイターやアドバイザー

ウォーリー木下 ストレンジシード静岡 フェスティバルディレクター 映像や音楽を取り入れた言葉を発しない、ノンバーバルパフォーマンス集団 THE ORIGINAL TEMPOのプロデュースを行い、エジンバラ演劇祭にて5つ星を獲得。その後、スロベニアや韓国、 ドイツなどと国際共同製作を行い、海外からも高い評価を得ている。東京2020パラリンピック開 会式(演出)、ハイパープロジェクション演劇「ハイキュー!!」シリーズ(演出・脚本)など。



#### 国内公演 【計2作品】

・ストレンジシード静岡 (2026年)

#### 海外公演 【計4作品】

成里日標(見込)

- ·国際共同制作作品(英国: stopgap Dance Company) (2026年)
- ・ソウル・ストリートアートフェスティバルへの参 加(予定) 3作品(2025年、2026 年)

文化施設の公演活動に対する専門誌・専門家・批評家等 による評価数(高評価)	3件以上
海外の専門家の視察数	10人
なんだ?ゼミの受講生・参加 者から新たにスタートする活動 の数	2件以上

#### 育成対象者:5人

- 鈴木ユキオ(ダンス)
- 大熊隆太郎 (演劇・マイム)
- 安本亜佐美(サーカス)
- ゼロコ (マイム)
- ジャンルを横断したストリートシアター作品 の創作にあたり、独自の世界観を持った知 名度・実力共に十分な人材を選定。

# 体制図

#### ふじのくに野外芸術フェスタ実行委員会

#### 静 岡 市 県

# SPAC 静岡県舞台芸術センター

● 芸術総監督:宮城聰

● 劇作家:石神夏希

● テクニカル・ディレクター:村松厚志

● 芸術局長:成島洋子

● 制作:丹治陽、坂本彩子、前原拓也



宮城聰



石神夏希

## ストレンジシード静岡

- フェスティバルディレクター:ウォーリー木下
- プログラムディレクター: 若林康人
- ジェネラルマネージャー:佐和ぐりこ、菅沼新太
- 広報:山口良太、草野冴月
- テクニカルマネージャー:川上大二郎、山﨑馨
- 制作統括:蔭山ひさ枝
- 海外担当: 菅井一輝



## ゼミ指導者

- 中間アヤカ
- 甲賀雅章
- 田中未知子(瀬戸内サーカスファクトリー)
- 金井ケイスケ(JDS)
- 石神夏希

# 育成アーティスト

- 鈴木ユキオ
- 大熊隆太郎
- 安本亜佐美
- ●ゼロコ



鈴木ユキオ



安本亜佐美



大熊隆太郎



ゼロ